

お西さん

1999

3-4



嚴寒の中、除夜の鐘がなりひびく



『あわてない
あわてない』

「この世において、どんな人にも、成し遂げられないことが五つある。一つは老いてゆく身でありながら老いないこと、病む身でありながら病まないこと、死ぬ身でありながら死なないこと、減ふべき身が減びないこと、尽きるべき身が尽きないことである。

世の常の人々は、この避け難いことにつき当たり、いたずらに苦しみ悩むことであるが、仏の教えを受けた人は、避け難いことを避け難いと知るから愚かな悩みをいただくことはない（和英仏典より）とある。

人生の流れは速い、「歳月は人を待たず」の喩えの通り迎えて、はや弥生とある。

此岸にあつて彼の岸を思うとき、そう遠くはない。

この岸にあつてしばし仏法の竿を差して、回りの景色を賞でながら静かに吟じても良い法である。

仏法に逢うとは「いのち」の余裕に会うことでもある。

輪番 鷺山諦住

ふれあいの寺 本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647

こんにちは さようなら

新任・転任のご挨拶



野川 大卓

「よろしくお願ひします」

ご本山で十九年余り奉職させていただきました。昨年十二月十五日付で函館別院の参勤を拜命いたしました、野川大卓です。

函館の地に新たなご縁をいただきましたことを、ありがたく受け止め、ご法義の相続に全力であたりたいと思ひます。しかしながら不出来な者ですから、皆様方にお育てをいただきとうと初めからアマエていませぬ。どうぞよろしくお願ひいたします。



「いんかわれば」

函館別院で奉職させていただくことになったのが昨年の年末。生まれて初めて函館にやってきました。

早速、除夜会・修正会の準備を先輩諸氏の指示・指導のもと、おぼつかないながらもほんの少し、お手伝いさせていただくことができました。

また、新年二日からは、ご門徒宅への正月参りがあるということなので、割り当てていただいた名簿に基づき、住宅地図をコピーし事前に試走して、予備知識を頭に入れることとしました。そうでもしないと、当日になっていきなり出発して、行き先が分からなくたっても誰にも聞くことができないということ、十分に予想できたからです。しかしながら実際に参りに出かけると、雪が降るうえに寒いし、状況が変わっている場合もあって、なかなか思いどおりにはなりません。けれど寒い函館で、ご門徒の皆様方の温

かいお心遣いに支えられて、何とか与えられたものを勤めさせていただけたと感謝しています。

これからも皆様方に多々ご迷惑をおかけすることと思ひますが、宜しくご指導のほど、お願ひいたします。

(野川)

「ハッソソ」

富岡二丁目の髙原さん宅へ伺ったときです。病氣の話になりまして「最近若い人もよく亡くなっていますね」とそんな話をしておりました。奥様から「お寺さんも若いけれど一度ちゃんと(病院で)診てもらった方がいいよ。」と言われ、僕は大丈夫ですよ、と言った自分にハッとしました。若いから、今元氣やから私には関係のない話と、老病死へとつながることをしっかり考えていない自分に気付いたことでした。次は我が身かもしれないということ。改めて考えさせられたことでした。

(廣澤)

除夜会 スナツプ



ボーイスカウト かがり火のご奉仕



ウーッ、寒いよー、まだかナー

「お世話になりました」



石丸 克也

このたび、熊本の人吉別院へ転動することとなりました。五年三カ月の間、皆さまには、本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。この火の国で、初心に帰って燃えるような毎日を送っています。

「隠れ念佛」と「妙好人・伝助さん」でも知られる当地は、球磨川の流れ、温泉に恵まれた風光明媚なところで、今でもアチコチにお念佛の音が響いています。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。「球磨焼酎」と「からしレンコン」をぶら下げて、お迎えいたします。

皆さまと再びお出遇いできますことを心待ちにしております。

最後になりましたが、凍てつく北海道で心暖まる日々を、本当に有り難うございました。皆さま、どうぞお元気で。

台筆

「字が書けなくて」

今年の冬の道は所々凍結していて車を運転するのも、歩くことさえ大変でした。皆さんは滑って転んでおケガ等はなかったでしょうか？ 中道二丁目の西川さんは凍結した道を歩かれていたとき右肩を打撲されたとのこと。西川さんは自宅でお習字教室を営んでおられ、先日伺ったとき「右腕の調子が悪くてうまく書けないんですよ」とおっしゃられ、ひどく具合が悪そうでした。早く良くなって下さいね。

(山岸)

「九十の背中」

宇賀浦町の西村さんのお母さんが亡くなられてから、半年近くになります。お伺いしたとき、未だに玄関を上がったすぐのお部屋に居られるような気がしますね。とお話ししましたら、「母が亡くなって初めていろいろなことが分かってきました。」とお話しして下さいました。お年も九十を越えられていましたが体調が優れなくても必ず一緒にお参りして下さいました。又、履物一つにしても、お仏壇のお飾りにしてもいろいろ氣遣ってくださっているのがよく分かりました。言葉は少なかったのですが、いつも笑顔の中に、その背中にお母さんの思いがにじみ出ているようでした。お母さんの九十年余りのお姿が今、忘れられている大きなものを、後に残る私たちに残してください、お浄土にお還りになられたのではないのでしょうか。

(神田)

「のこしたもの」

豊川町の前側さわ多さんが先日往生の素懐を遂げられました。いつ伺っても大らかな笑顔で迎えて下さり、お茶を飲みながら大きな声で色々とお話してくださいました。

しかし最後まで私に、いや、みなさんに大きなものを残して下さいました。どんなに親しきなかでも、若くても元気で、そして私にも、必ずやってくるものがある事を。佛教を学ばせて頂き知っているはずなのに、祖母を亡くした時気付いた筈なのに、又こうして教わらなければ忘れてかけている自分に、とても厳しく、そして優しく教えて下さいました。だからこそ私のゆく道をしっかりと見据え、その辛さ悲しさの奥に有るものを目指してゆきたいと改めて思いました。

(高倉)

「花は散っても…」

この原稿を書いている二月四日の夜、淋しい知らせが入りました。私が以前伺っていた柏木町の瀬澤さんのおばあちゃんが亡くなられたという知らせです。昼間に書いた原稿には、昨年十二月、久しぶりに伺ったときに、足が大変弱くなられて、二階のお仏壇の部屋には上がれなくても、階段下のお部屋でお参りされていたこと、「玄関先で聞こえた声で多分そうだろう」と思ったんだよ。懐かしいね。」といつもと変わらない優しい笑顔で声を掛けてもらい、気持ちホッと温まったこと



寒かったですよ!! 甘酒飲んであったまって
仏教社年会のご奉仕



新婚さんいらっしゃい



もうすぐ私の番!

と、一月に再び伺ったとき、おばあちゃんが体調を崩し年末から入院されたものの快方向かっている間かされ一安心したことが…。そして最後には「早く元気になって下さい。」と書くつもりだったのに…。あの笑顔にもう会えないと思うと、本当に淋しい思いで一杯です。でも「花びらは散っても花は散らない 人は去っても面影は去らない」とある様、次から次へと思い出されてくる優しい笑顔や言葉は、私の中にしっかりと残っています。おばあちゃん、いろいろなとお世話になりました。そしてたくさん温かい思い出を有り難うございました。(小笠原)

「お念仏の相続」

高丘町の斎藤さんの家にお伺いすると必ずおばあちゃんが私と一緒に勤めをあげて下さいます。ふといつかからお勤めをあげられているのですか?と聞いてみましたら、なんとご主人のお父さま、要するにお舅さんと一緒に毎朝夕お勤めをあげられているそうです。お舅さんとはとても立派で優しい方だったように、お嫁にきたばかりの斎藤さんにお勤めのお作法や仏さまのありがたさを色々とお教えくださったそうです。又、「ここまで頑張ったからこれからはお舅さんのお陰です。」とお話して下さいました。苦しいとき悲しいとき、又うれしいときもお舅さんの話してくれた真宗の教えを思い出しながら一生懸命暮らしてこられたそうです。この先も斎藤さんは

毎朝夕お勤めをあげられることでしょう。本当にすばらしいことだと思います。既に亡くなられているお舅さんですが、今尚、斎藤さんに仏さまとの縁を下さっているのだと思わずにはおられません。その時「お念仏の相続」という言葉が有り難く響き渡りました。(石黒)

「当たり前が有り難い」

先日亀田本町の古川さんのお宅に伺ったところ、いつもならご夫婦そろってお参りなさるのにご主人様がいらっしやいませんでした。どうされたのかとお聞きしますと、腰を痛められて病院に行かれてるとのことでした。奥様も二・三日前まで風邪で高熱のため寝こんでおられたとのことでした。「普段は健康な身体が当たり前のように生活していますが、体調を崩したり、怪我をすると健康でいられることがどれほど有り難いことかわかりますね、特に歳をとり夫婦二人きりだとなおさらだと思えます。」とおっしゃられておりました。

健康のことはもちろんのこと、普段何げなく思っていることでも、よくよく考えてみると、その場に立たされて初めてありがたみかわかるということもよくあります。当たり前前のごことを当たり前前としてではなく、当たり前前のごことが有り難いこととして受けとめられたら、普段の生活でも感謝する事、喜ぶことがもっともっと増えるのではないのでしょうか。皆様もお体を大切に下さってください。(吉村)

「きっかけ」

五稜郭町にお住まいの澤田さん、大晦日の除夜の鐘を突き大変寒い中、お寺にいらして下さいました。私もご主人のお姿が見えた時は大変嬉しくおもいました。「お寺さんの誘いを断るわけにはいかないもんなあ」とご主人。何はともあれお寺に足を寄せていただくきっかけが、新年を迎える除夜のお勤めであったことは誠に有り難いことです。報恩講にもご夫婦揃ってお参りにこられていましたし、少しずつ構いませんので仏法になれ親しんでいただくよう職員一同精進致します。ぜひ、春のお彼岸法要にもご家族揃ってお参り下さい。しばれる空気の中、まささらなお気持ちで突かれた除夜の鐘の音のように、仏さまの願いがお心に響くことと思えます。(黒田)

乙女のつぶやき

〈事務員日記〉

近頃たのしくて嬉しい

そんなはずなのに凍っていた気持ちが光に照らされて溶けていっているのだろうか?何がどうということではないのに「たのしいな」とつぶやいていることに気づく。春が近いからかな? (山崎)



体中、まっ白になりながらのもちづくり。早くお雑煮食べようよ。



-4.5℃の中、元気に歳末助け合い募金のかけ声が大門にひびきました。

ポ一イスカウト活動
スナツプ集

教えてお寺さん!!

Q&Aコーナー

檀家さんの
ご質問に
お答えします

白蓮華が一番高貴なお花だと聞いてますが、よくよくご本尊を拝見しますと阿弥陀如来様は青蓮華の蓮台にお立ちになっています。阿弥陀如来様は何故、一番高貴な白蓮華の蓮台の上ではなく、青蓮華の蓮台にお立ちになっているのでしょうか?

Q

A

よくお気づきになりました。ご本尊の阿弥陀如来様は青蓮華の蓮台にお立ちになられています。青蓮華の蓮台は、衆生世界(そねみ、ねたみ、苦しみ、悲しみ、悩みのつきないこの世のこと)を表しているのです。一番高貴な一番清らかな白蓮華の蓮台の上から私達が仏の願いに気づき導かれるのを待っているのではなく、目先のことで右往左往している私達を見ていられず、私達と同じ場所にお立ちになられ、「真実のみ親はここにおるぞ、一刻も早く仏の願いに気づき、仏の願いを聞き開いて、強く明るく大安心の日暮しを送っておくれ。」と如来様の方から私達を「間違いなく浄土へと導いてみせるぞ。」と歩み寄られているお姿を青蓮華の蓮台で表されているのです。

浄書(写経)の会受講生

大募集!

- 会場/別院内堂 ●会費/無料
 - 初回開催日/四月五日(月)(毎月第1月曜日午前10時から正午まで)
 - 教材費/別途にて(讃仏偈・重誓偈)
- 詳しくは当院までお問い合わせ下さい

初めての方もどうぞ参加下さい

青年会一泊スキー開催

青年会の皆様、今年はみんなでスキーに行こう!!ということで、七飯のスキー場に遊びに行きたいと思います。参加費は一人9千円です。これはホテルクロフォードインの宿泊費とリフト代込みです。奮ってご参加ください。

期日 **3月13日(土)~14日(日)**

場所 **七飯大沼国際スキー場**
ホテルクロフォードイン

参加費 ○会員/9,000円 ○一般/11,000円

締切 **3月4日(木)** 詳細は高倉まで<TEL 23-0647>



春のお彼岸法要

三月十八日(木)~三月二十四日(水)

- 晨朝/朝七時より
- 逮夜/昼一時三十分より

◆布教使◆

三月十八日(木)~三月二十一日(日)

三重県 真正寺 住職 瀬古 誠師

三月二十二日(月)~三月二十四日(水)

兵庫県 正専寺 住職 九折 舜壽師

※本院納骨堂及び台町墓地は、十八日(木)より二十四日(水)までお勤め致します。
※二十一日(日)は本院にてラムネとおだんごをご用意致します。どうぞご利用下さい。

台町のお彼岸法要

三月二十日(土) 午前11時30分より

●法話/輪番 鷺山 諦住

■お供物についてお願いのこと■

墓所においては、カラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所の美観を損ね、納骨堂においても生菓子、供花の腐乱が著しい故、お供え物は読経(お参り)を終えられましたら、仏様からのおさがりの品々ですので、必ずその場でお食べになるか、持ち帰られます様お願いいたします。

お西さんテレフォン法話



0138 27局 2424番

24時間お好きなときにいつでもどうぞ



- 2月 28日(日) ~ 3月 6日(土) ... 吉 村
- 3月 7日(日) ~ 3月 13日(土) ... 高 倉
- 3月 14日(日) ~ 3月 20日(土) ... 石 黒
- 3月 21日(日) ~ 3月 27日(土) ... 布 教 使
- 3月 28日(日) ~ 4月 3日(土) ... 廣 澤
- 4月 4日(日) ~ 4月 10日(土) ... 輪 番
- 4月 11日(日) ~ 4月 17日(土) ... 副 輪 番
- 4月 18日(日) ~ 4月 24日(土) ... 布 教 使
- 4月 25日(日) ~ 5月 1日(土) ... 野 川

ようこそ常例布教へ

(3月) 北海道教区 空知北組 光明寺
三 栗 得 生 師

(4月) 北海道教区 上川北組 尊光寺
教 重 文 雄 師

十一日 職員法話

十二日 布教使

十五日 輪番法話 (午後1時30分より)

会場 当院本堂にて

※なお、毎月十六日は、十二時半より文化会館1Fにて十六日会です。

土曜の会へ行こう

● 三月 二十七日(土)

(午後一時三十分より)

● 四月 二十四日(土)

(午後一時三十分より)

会場 日吉町熊谷宅にて

お問い合わせ ☎(0138)5416859

永代経懇志
ありがとうございました。

おくやみ申しあげます。

お便り
大募集



仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にてお答えします。編集部宛の手紙でお寄せ下さい。又、詩・短歌・俳句・マンガ等も募集しています。どうぞ、お気軽にお便り下さい。

お問い合わせ ☎(0138)2310647

編集後記

▼ 先日流行に敏感な私は40度近い熱をだしてしまいました。元気な時は何とも思わない事も体調を壊し頭痛がひどい時に、色々気が付く事も有りました。暖かい声をかけてくださる方、又、逆の方。だからこそ今度は自分が元気な時、やってみて嬉しかった事を自分の出来る限り、そして言われて嫌だった事は決して言わぬよう。又一つ字ばせて頂きました。(高倉)

▼ 三寒四温とは申しますが、今年の冬の寒暖の差は例年より厳しく思えます。一月からご門徒さんの「風邪をひいたので月参りをお休みして下さい。」「おじいちゃん、おばあちゃんがこるんだけがをしたので…」等のお寺への連絡が後を絶ちません。私も他人事ではなく十分気をつけなくては...と思っていた矢先に左足首をくじいてしまいました。気を付けているつもりでも、つもりはつもり。気ばかり早まって身体がついてこない。三十一歳か...。(黒田)

ミッキークラブ

お母さんがお仕事を持っておられる方、急に一日用事で出かける方、安心してお出かけ下さい。

ミッキークラブでおあずかりします。

対象

担当

龍谷幼稚園生並びに 古澤 妙子先生
2歳以上の弟妹 (元龍谷幼稚園主任)

お問い合わせは 龍谷幼稚園 ☎23-0274
ミッキークラブ ☎27-4304

龍谷幼稚園 で〜す



「龍谷場所」

高島 綾子先生

冬休みも終わり、元気にみんな登園してきたある日、全園児でお遊戯室で遊んでいると、誰かが「相撲をやろう!」と言いました。円の書いてあるマットを敷いて、東と西に分かれ『龍谷場所』が始まりました。

はじめは、先生対大きい組。塩をまいて、シコをふんで「はっけよいのこった」。大きい組の男の子となると、先生にも負けてはいません。中には本気で負かせてしまう子もいました。



それを見ていた小さい組の子も大きい組の子と身体をぶつけ合っている姿をみて、応援している周りの子たちにも力が入ります。

お片づけの時間になると「また明日もやりたい」との声がたくさん聞かれました。どんなに寒い日が続いていても、龍谷幼稚園の子どもは元気いっぱい走り回っています。

「明日もおすもうしようね!」